
挫折・・・だがしかしそれは過去のこと、と言う訳でトップに成り上がれ！！

青龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

挫折・・・だがしかしそれは過去のこと、と言う訳でトップに成り上げられ！！

【Nコード】

N12300

【作者名】

青龍

【あらすじ】

天才テニス少年だった翔平は、圧倒的实力差があり

絶対に負けられないと言われていた地区予選途中で、

右腕に激しい痛みを受け、そのまま倒れ救急車に。

病院での診察の結果、とてもテニスを続けられる状態では

無いことが判明……。

それから5年……15歳になった翔平は、普通の高校生として生活していたのだが、ひょんなことからテニスを始めること。

だが、そこで待っていたのは、5年前とは比べ物にならない

ほどの、自分の落ちぶれた実力……。

さあ、そこからどうやってトップになるのか？

がんばれ、翔平。

1話 いつまでも挫折しているとブツ飛ばすぞー！

「キーン、コーン、カーン、コーン。」

「よし、今日の授業はここまで。続きは明日だ。」

そうして今日の授業が終わったところに、

同じクラスの晴美ちゃんが話しかけてきた。

「ねえねえ、翔平君今日暇？」

「あ、うん。暇だけど。」

晴美ちゃんは、このクラス、いやこの学校でも

一番か二番目ぐらいのかわいさを持つ子だ。

最近やたらと話しかけてくる。だが、その理由は分からない。

別に俺がどっかの主人公みたいに、超イケメン設定ではないし、

これといった長所はない。

「じゃあ、このあとテニスしに行かない？」

「え、……いや……テニス？」

どきっ、となった。別にかわいい娘とテニスにいけるからではない。

俺は元々、テニスをやっていて、天才と呼ばれていた・・・

5年前のあの日までは・・・。

「いや？高城君にテニスうまいって聞いたから教えてもらおうと思っただけだ。」

「だけど？」

「いや、別のいやじゃないけど・・・。」

「じゃあ、決定！5時に青葉公園前ね。じゃあね！」

「あ、ちょっと！」

いってしまった・・・。行くことになった。

出来るだろうか？そんな不安を抱えながら、

公園に向かった。

2話 さあ、立ち上がれ翔平！！

「あ、翔平君！こっち、こっち。」

公園に着いた。俺は以前使っていたラケットを取り出しながら、自転車から降りた。

「待った？」

「全然。早速はじめよ。」

「うん……。」

ここ、青葉公園は、テニスコートがある市の公園だ。

静かに吹き抜ける涼しい夏風とは反対に、俺の心臓はバクバクなっていた。

「じゃあ、いくよ。」

そういつて、晴美ちゃんのサーブが来る。球威は全然ない。

以前の俺なら、これ位の球は、いとも簡単に打てた。

だが今の俺は……

(怖い……打てない……無理だ……)

打てなかった。ラケットを振ることが怖かった。

その後何回やっても俺は、ラケットを振ることが出来なかった。

3話 過去のことは忘れる翔平!!

「もう、何やってんの。ちゃんとやってる。」

「ごめん。ただこれには事情があつて……。」

「どんな事情？」

俺は話すべきかどうか迷った。だが、なぜか話した。

話を聞き終わつた晴美ちゃんは、泣いていた。

「え、何で泣いてるの？」

「だって、私、あまりにも無神経だったから。」

「いいよ。だって晴美ちゃんは何も知らなかつたんだから。」

「でも……。」

「いいつて。」

その後しばらくお互いに沈黙が続いた。その数分後、ある男が、俺の前を横切った。

「あ!!」

その声を聞いた相手も、こつちを見てきた。

「あ、お前は翔平。」

それは、以前全国大会で、決勝戦で戦ったライバルだった。

あの時は、3 - 2でぎりぎり勝った。本当にいいライバルだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1230o/>

挫折・・・だがしかしそれは過去のこと、と言う訳でトップに成り上がれ！！

2010年10月9日21時51分発行